

一般質問通告一覧

平成31年第1回島田市議会定例会

平成31年3月5日・6日・7日本会議

島田市議会

◎ 発言順位

平成31年 3月 5日 (火)

(頁)

【代表質問】

12番 佐野 義晴 議員 (清 風 会：包括質問) ----- 1
 16番 森 伸一 議員 (きょうどう島田：一問一答) ----- 3
 10番 曾根 嘉明 議員 (さきがけ島田：一問一答) ----- 4
 8番 藤本 善男 議員 (創造島田：一問一答) ----- 6

【個人質問】

5番 齊藤 和人 議員 (一問一答) ----- 7

平成31年 3月 6日 (水)

9番 村田千鶴子 議員 (一問一答) ----- 8
 2番 大関 衣世 議員 (一問一答) ----- 9
 7番 横山 香理 議員 (一問一答) ----- 10
 6番 伊藤 孝 議員 (一問一答) ----- 11
 3番 大村 泰史 議員 (一問一答) ----- 12
 11番 桜井 洋子 議員 (一問一答) ----- 13

平成31年 3月 7日 (木)

17番 山本 孝夫 議員 (一問一答) ----- 15
 19番 清水 唯史 議員 (一問一答) ----- 16
 4番 河村 晴夫 議員 (一問一答) ----- 17

○一般質問の質問時間の目安

(3月5日)

質問者	1人目	2人目	3人目	4人目	5人目
質問時間	9:30~ 10:30	10:30~ 11:30	11:30~ 13:30 休憩含む	13:30~ 14:30	14:30~ 15:20

(3月6日は6人、7日は3人)

質問者	1人目	2人目	3人目	4人目	5人目	6人目
質問時間	9:30~ 10:20	10:20~ 11:10	11:10~ 12:00	13:00~ 13:50	13:50~ 14:40	14:50~ 15:40

※ あくまでも目安です。

議員により質問時間は変動しますので、あしからず御了承ください。

【代表質問】

1. 12番 佐野義晴議員(清風会) (包括質問)

1. 市長の政治姿勢について

染谷市長は、2期目の折り返し点に差ししかかろうとしている。

これまでを振り返り、これからの当市の方向性をどのように導き、市民生活の向上を図るか、以下質問する。

(1) 縮充について

平成30年度の施政方針、そして広報しまだの年頭挨拶にあった縮充の根拠と、それに向けてどのような取り組みを行っているか、また、行おうとするか伺う。

(2) SDGs(持続可能な開発目標)について

ある冊子による全国815の市区を対象にした「SDGs先進度調査」において、当市は全国で112位、県内で5位であった。この高い評価をどのように受け止めているか。また、これをこれからのまちづくりに生かせないか伺う。

(3) 庁内の組織再編について

① これまで繰り返された組織再編について、過去の事例としてスポーツ振興課の部局を横断する移管、また、すぐやる課を課から係、そして課に戻したことに至った考え方を伺う。

② 組織再編に当たり、これまでの再編実績について、どのような検証結果に基づいて更なる組織再編を行う判断をしたか。

③ オリンピック・パラリンピック推進室が教育委員会のスポーツ振興課内の組織であった場合と市長部局の観光課に設置されている現状とでは、どのような違いが考えられるか伺う。

(4) 新市民病院の経営のあり方について

① 新病院の安定経営に向けて、開院後、目標とする医師数と確保に向けた動向及び診療科数の動向を伺う。

② 医師確保に向けて、市及び病院から市民に望むものはないか。また、市民の役割をどのように考えるか。

③ 全国の自治体病院の6割が赤字経営であると聞く。赤字を出さない体制づくりはできないか。

2. 平成31年度当初予算を初め、今後の予算編成について

市長が目指す市政運営の根幹は縮充だと認識する。予算編成に向けた基本的な考え方、進め方について、以下質問する。

(1) 各部署への指示事項を初め当初予算編成に向けた基本的な考え方と短期間に重なる財政投資に、これを呼び水にした民間の投資の引き出しや市民サービスの向上は図れるか。

(2) 平成30年市議会11月定例会終了後に3常任委員会から、市長に提言書を提出した。当初予算編成において、どのような対応を図ったか。

3. これからのまちづくりのあり方について

第2次島田市総合計画の巻末資料では、当市に個別計画が89あるとされている。その中で、これからのまちづくりに直接かかわる計画書が見直されている。各計画動向とこれらの計画策定に農地利用は切り離せない課題と考える。その拡大に向けた対応のあり方について、以下質問する。

(1) 各種個別計画（第2次島田市総合計画・島田市都市計画マスタープラン・立地適正化計画・島田市公共施設等総合管理計画）と学校づくりについて

- ① 島田第一小学校校舎等改修事業が実施計画書に示されているが、単独と統合した場合の予算規模の違いはどうか。また、いずれの計画であっても、平成36年度（2024年度）の供用開始はどうか伺う。
- ② 学校再編は地域づくりに及ぼす影響が大きい。個別施設計画と学校再編に向けての考え方を伺う。

(2) 農業の継続と土地利用について

農業の維持継続は難しい状況にあり、大きな社会問題になっている。また、農業振興地域内を通る都市計画道路周辺の農地の保全と都市整備が共存できる方策と方針を伺う。

(3) 中心市街地活性化基本計画について、計画策定期間が平成31年度（2019年度）末に延期された。

- ① 延期により何がどのように変わり、1年後の計画はどうなっているか。また、国の認定の可能性について伺う。
- ② 延期の理由として、民間と市それぞれに課題があったと推測する。課題解決に向けた考え方を伺う。

(4) 災害対策を念頭に置いた持続可能なまちづくりについて

- ① 事前の防災計画（マイ・タイムライン）の策定動向と計画策定及び予算措置の可能性について伺う。
- ② 災害対策と持続可能なまちづくりを一体的に捉えた戦略的な取り組みをどのように考えるか伺う。

2. 16番 森 伸 一 議員 (きょうどう島田) (一問一答)

1. 新市庁舎建設及び周辺整備などについて

私たちの会派「きょうどう島田」は、新庁舎建設及び周辺整備、文化会館のあり方について、平成30年市議会9月、11月定例会で質問や委員会で意見を述べてきた。重複する質問もあるが再確認の意味も込め、以下伺う。

- (1) 新庁舎整備基本計画策定時に、時期は先になる新たな文化会館の建設位置を明示すべきだと考えるがどうか。
- (2) プラザおおりの改修方法については、内容、費用などの具体的な資料を示し、議論を経て決めるべきと考えるがどうか。
- (3) 新庁舎建設では、構造自体も含め大井川流域の木材を使うべきだという意見に対し課題が多いとの答弁であったが、課題解決の参考にするために木材で大規模建築を専門に手がけている業者の意見を聞く機会をつくる考えはないか。
- (4) 文化会館の運営、人材養成も関連した文化芸術推進計画策定の担当課と、プラザおおりなどの施設運営にかかわる文化係が別の課になった理由は何か。

2. 島田市の環境施策について

「きょうどう島田」は今年度の視察研修で、出雲市などの再生可能エネルギーや木造で建てられた南陽市文化会館などの地元材の活用について学んだ。最近、地球温暖化対策のパリ協定の採択や海洋のプラスチックゴミの話題も多い。当市も環境基本計画等、環境に関するさまざまな施策を行っている。このことについて、以下伺う。

- (1) 森林を適正に管理、維持するための森林環境整備計画を策定するとのことだが、計画の内容や策定期間についてどのように考えているか。
- (2) 環境報告書には、賑わい交流拠点での地産物の販路の確保とともに地産地消の推進がうたわれているが、具体的にはどのような準備が始まっているか。
- (3) 平成30年市議会6月定例会で質問した、蓬莱橋付近の大井川の悪臭、色についてどのような対策をしたか。
- (4) 市役所新庁舎、新市民病院及び賑わい交流拠点施設の建設が予定されているが、低炭素、脱炭素社会を見据えたパリ協定遵守の面でどのような取り組みを考えているか。
- (5) 当市はペットボトルの回収にも努めており、スーパーではポリ袋の有料化などプラスチックゴミの減量に取り組んでいる。しかし、プラスチックゴミが河川に捨てられ、海の環境汚染を引き起こしている。プラスチックゴミについての市の対応、方針はどうか。
- (6) 太陽光発電設備等の設置に対する助成から、住宅用蓄電池及び家庭用燃料電池の設置に対する助成にシフトした理由と具体的な内容はどうか。
- (7) 環境報告書には、環境教育の推進の平成30年度の計画に市内小・中学校で放射線等にかかわる授業の実施が書かれていたが、どのようなことを行ったか。

3. 10番 曾根嘉明議員（さきがけ島田） （一問一答）

1. 防災対策について

近年の台風は、強い勢力を保ったまま接近・上陸をしている。今後もスーパー台風と呼ばれる超大型の台風の接近・上陸により大雨や暴風などの特別警報が発令されることが予想される。

昨年台風24号により、市民生活に大きな影響を与えた停電に対する備えの必要性も痛感したところであり、以下質問する。

- (1) 暴風による風圧や外部からの飛散物の衝突により窓ガラスの破損による負傷等が懸念されるが、こうしたことに対する対策の周知は行っているか。
- (2) 国、県では各家庭のマイ・タイムラインの作成を促進しているが、マイ・タイムラインの作成における市の取り組みはどうか。
- (3) 特に大雨や暴風時には同報無線の広報は伝わりにくいとを感じる。そこで、緊急時にはサイレンの吹鳴といった手段は考えられないか。
- (4) 第2次島田市総合計画に「ICTやドローンを活用した災害情報の収集・処理システムの導入」とあるが、市で配備したドローンの活用状況を伺う。

2. 観光施策について

当市を「観光で稼ぐまち」の視点から見ると、他の事業に比べて進捗状況が好ましくないとと思われる。観光への取り組みの強化は、当市の存続に欠かすことのできないことと考え、以下質問する。

- (1) 観光で稼ぐまちのため、観光戦略の具体的な中身について伺う。
- (2) 第2次島田市総合計画とまち・ひと・しごと創生総合戦略に、まちの魅力を生かして、観光で稼ぐと位置づけているが、どのように違うか伺う。
- (3) 市はサイクリングをスポーツとして位置づけており、大井川流域サイクルツーリズム協議会は情報誌を作成して愛好家を呼び込もうとしているが、どのような支援をするか伺う。
- (4) 実施計画書には、観光拠点・中心市街地ネットワーク事業としてシェアサイクルのステーションを設置するとあるが、当初予算に計上していない理由を伺う。
- (5) 文化や歴史に育まれた観光文化資源、多彩な地域資源については、以前から述べられているが、施策の動きが遅いと感じないか伺う。

3. 市民病院の今後について

新市民病院は2020年度中の開院に向け、計画どおり工事が進められているが、医師確保や経営状況について、以下質問する。

- (1) 開院に向けての医師確保の見通しを伺う。
- (2) 大井川流域の基幹病院としての役割を果たすには、何人の医師が必要か伺う。
- (3) 病院建設基本計画で示された開院後の事業シミュレーションの変更の考えはあるか伺う。

- (4) 戦略推進課病院支援室の支援内容を伺う。
- (5) 今後の市民病院に対して議会として支援することは何かあるか伺う。

4. 8番 藤本善男議員(創造島田) (一問一答)

1. 平成31年度施政方針について

市政運営に対する市長の考えが平成31年度施政方針として示され、施政方針の結びには「市役所は究極のサービス業を営む会社であり、島田市の未来のために投資する市内最大の投資会社である」と述べられている。

前年度に比べて11.5%増と、過去最大規模の積極投資型予算となった平成31年度一般会計予算案を踏まえ、施政方針で示された取り組みについて、以下質問する。

- (1) まち・ひと・しごと創生推進本部の活動について、平成26年に設置した組織による地方創生への取り組みを、どのように評価しているか。
- (2) 重点プロジェクトの推進について
 - ① 地方の医師不足が懸念されているが、新病院建設における病院関係者の要望は確実に反映できているか。また、開業時の医師体制はどのように考えているか。
 - ② 賑わい交流拠点整備事業について、市が主体となって行う観光案内所、歩道橋整備等の事業効果はどうか。
 - ③ 市役所本庁舎建設に際して、有事における対応拠点及び市民が訪れやすい施設を目指しているが、具体的にどのような庁舎となるか。
- (3) 新たな時代を切り拓く7つの「挑戦」について
 - ① デジタルマーケティング手法を推進する組織として新設するデジタルマーケティング推進室は、どのような取り組みを行うか。
 - ② コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりは、どのような分野で具現化するか。
 - ③ 保育料一部無償化による少子化への対応はどのような効果が出ているか。また、子育てに対する今後の需要はどのように予測されているか。
 - ④ 今後の学校再編はどのように進めていくか。また、いじめや教師の多忙化など教育現場における諸課題に対する取り組みはどのように考えているか。

【 個人質問 】

5. 5番 齊藤和人議員 (一問一答)

1. 当市における地区防災について

私は、昨年9月5日から11月10日にかけて土日を使い、静岡県ふじのくに防災士養成講座を受講した。また、ことしの1月10、11日の2日間で防災と議員の役割というテーマの全国市町村議会議員研修会を受講した。平成30年市議会9月定例会では、島田市地域防災計画について一般質問をしたが、今回は地区防災計画の中で自主防災会及び避難所運営の課題について、以下伺う。

(1) 自主防災会組織について

- ① 女性役員の割合はどのような状況か。
- ② 隣組単位での活動は可能な状況か。

(2) 被災当初の課題と対策について、トリアージ、救急救護への取り組みはどのような状況か。

(3) 避難所運営について

- ① 避難所運営のマニュアルは整備されているか。
- ② 今後海外からの旅行者の増加が予測されるが、帰宅困難者の受け入れをどのように進めるか。
- ③ 女子更衣室、授乳室の設置は確保されているか。
- ④ 要配慮者に配慮した専用の居住区を設ける必要があると思うが、その対策はできているか。
- ⑤ 高齢社会では、被災した場合に直接死よりも災害関連死の方が多く、その対策が重要であると聞くが、どのように取り組んでいるか。

2. 島田大祭について

ことしは3年に一度の島田大祭の年であり、10月12、13、14日に行われる。少子高齢化が進む中で参加者の減少が特に課題であると聞く。島田大祭保存振興会が中心となり、検討を進められているようであるが、その内容について以下伺う。

- (1) 島田大祭運営の進捗状況はどうか。
- (2) 市としてどのような方向性を持ってかかわっているか。
- (3) 過去の大祭のように中心街だけで運営を続けることは難しくなってくると思われるが、改革すべき点は何か。

6. 9番 村田千鶴子議員 (一問一答)

1. 交通安全対策について

2015年6月に改正道路交通法が施行され、14歳以上に対する自転車の危険運転への罰則が強化された。また、2017年3月施行の改正道路交通法では、75歳以上の運転者に対する免許更新時などの認知機能検査が義務づけられた。事故防止に向けてさまざまな対策は取られているものの、現状では事故は多発している。小・中・高校生や高齢者の安全な通行の確保と高齢運転者の交通事故防止、冬場や夕暮れ時と、夜間の歩行中や自転車走行中の交通事故防止等に向け、島田警察署と連携協力をして指導体制のさらなる強化を図り、取り組まれることを念頭に、以下について質問する。

- (1) 島田警察署管内においての自転車での事故件数、高齢運転者の事故件数及び高齢者の免許証返納数は何件か。
- (2) 夜道における学生服での自転車走行の危険について、どのように指導しているか。
- (3) 小・中・高校生の学校における交通安全教育について伺う。
- (4) 高齢運転者の交通事故防止対策の指導体制はどうか。
- (5) 冬場や夕暮れ時と、夜間の歩行中や自転車走行中の交通事故防止対策の指導体制はどうか。
- (6) 横断歩道上において、自動車の運転手は歩行者を保護しなければならない。しかし、歩行者側も自分を守るための対策をしなければならない。市として歩行者への指導はどのようにしているか。

2. 2019年は島田大祭イヤーとして花による大祭機運の盛り上げについて

3年に一度の元禄大絵巻。日本三奇祭である第109回島田大祭帯まつりが、新たな元号に変わることしの10月12日、13日、14日に開催される。時代の転換期の開催となり、伝統を守りつつ時代に沿った島田大祭の第一歩になることを期待する。全市民参加の大祭になるように、島田市花の会の協力のもと、市が市民に呼びかけて花による大祭機運を盛り上げる企画について、実施の考えはどうか伺う。

3. パワーハラスメントに対する対策について

職場でのパワーハラスメントとは、「同じ職場で働く者に対して、職務上の地位や人間関係などの職場内の優位性を背景に、業務の適正な範囲を超えて精神的・身体的苦痛を与える又は職場環境を悪化させる行為」をいうと厚生労働省で定義している。最近も、明石市長が市幹部に暴言を吐き、引責辞任したニュースが報じられ、社会問題となっている。

なかなか表面には見えず対応が難しいと思われるが、働きやすい環境こそが、市職員のさらなるパワーアップとなり市民サービスにもつながると考え、以下について質問する。

- (1) 市役所及び市民病院のパワーハラスメントの実態について伺う。
- (2) パワーハラスメントに類する行為があった場合、全庁的に相談体制はどのようになっているか。
- (3) 個人のプライバシーや個人情報に配慮した観点から、安心して相談できる体制が整っているか。

7. 2番 大 関 衣 世 議員 (一問一答)

1. 病児保育の推進について

当市は近年、子育て世代の人口の増加が見られ、子育て施策の充実が実を結んでいることのアラわれであり、今後の進展にも期待をしている。新年度から始まる、国の幼児保育無償化により、保育需要の増加が見込まれ、それに伴い働く母親の増加も予想される。志太榛原地域は夫婦共稼ぎの世帯の割合が県下一高く、育児をしている女性の就業率も5年前より上がっている。第2次島田市総合計画の中でも記されているように、子育て世代の支援体制の期待度は高く、今までにない施策も必要であると考え。若い家族に「子育てするなら島田市で」と選んでもらえるように、子供を取り巻く環境のさらなる向上を目指し、以下質問する。

- (1) 病児保育、病後児保育の内容を伺う。
- (2) 当市及び近隣市の病児保育の現状を伺う。
- (3) 今後の病児保育の計画について伺う。

8. 7番 横山香理議員 (一問一答)

1. 障害を持つ子供たちの早期支援について

平成30年市議会11月定例会の一般質問で、島田市教育センターに寄せられる相談の中で、特別支援教育に関する相談が現在非常にふえているという内容があった。特別支援教育というと、知的なおくれがある、あるいは発達に課題があるなど専門的な支援が必要であると思われる。こうした現在の状況を市はどのように捉えて子供や保護者、周囲とのかかわりを持っているか、どのような支援をしているか、以下質問する。

- (1) 島田市教育センターの教育相談には、どのような内容の相談が寄せられているか。
- (2) 島田市教育センターにおいて、発達検査を行った過去3年間の人数はどうか。
- (3) 島田市教育センター以外で発達検査を行っているところはあるか。あるならば過去3年間の人数はどうか。
- (4) 特別支援教育指導室「たんぽぽ」の概要と利用している人数はどうか。

2. 当市の食物アレルギー対応について

当市は食物アレルギーの子供を持つ家庭に対して、事前に次の月の給食の詳細献立表を渡し、除去食などをあらかじめチェックして、学校へ返却し情報の共有を図っている。また、配慮が必要な子供への給食は中部給食センターが提供している。さらに進級時などは必ず担任や養護教諭と面談をし、情報の共有を図っている。

ただ、非常に気をつけていても、前日口にした物が遅延性アレルギーとして出てきたり、運動によって誘発されるなど思わぬ事態によってアレルギーを引き起こすこともある。そうしたあらゆる事態に対応するため、現在、市としてどのように取り組んでいるか、以下質問する。

- (1) 中部給食センターで対応しているアレルギーの給食提供者は何人いるか。
- (2) アレルギーの薬を保持している子供を把握しているか。把握しているなら小・中学校と分けて人数を伺う。
- (3) エピペン（アナフィラキシー補助治療剤）を保持している子供を把握しているか。把握しているなら小・中学校と分けて人数を伺う。
- (4) これまでに小・中学校においてエピペン対応を行ったことはあるか。あるならば何人か、過去3年間の人数を伺う。

9. 6番 伊藤 孝 議員 (一問一答)

1. 投票率の向上について

統一地方選挙が予定されているが、投票率の低下が予想される。近隣他市においては、期日前投票所の設置場所を以前から工夫し投票率アップの対策を行っているが、当市はどのような方法で投票率の向上を目指すか、以下伺う。

(1) 平成29年の島田市長選挙・島田市議会議員選挙以降の取り組みについて

- ① 反省点はどのようなものが挙げられ、また、それ以降どのような取り組みをしているか。
- ② 若年層への主権者教育については、どのような取り組みをしてきたか。

(2) 今後の新たな取り組みについて

- ① 平成31年の静岡県議会議員選挙に向けての新たな取り組みはあるか。
- ② 第25回参議院議員通常選挙に向けての新たな取り組みはあるか。

2. 教育を取り巻く環境について

人口減少で教育環境も急激な変化が求められている。現在、当市で進めている学校再編については、市民に戸惑いがあるように感じ、以下伺う。

(1) 教育環境の適正化（学校再編）について

- ① 初倉中学校区の学校再編について、市はどのようなスケジュールで進めてきたか。また、今後どのようなスケジュールで進めるか。
- ② 北部地域の学校再編について、市はどのようなスケジュールで進めるか。

(2) 教育委員会に関する事務の点検・評価報告書について

- ① 新学習指導要領との整合性は、どのように図られているか。
- ② 外部評価委員は2人だが、適正と考えているか。

10. 3番 大村泰史議員 (一問一答)

1. 幼児教育の無償化に伴う保育環境整備について

平成31年2月12日に閣議決定された幼保無償化法案に先立ち、本市では保育料の第2子半額、第3子以降の無償化を実施しており、また、待機児童対応においても積極的に取り組んでいるが、全国的には「無償化より待機児童の解消を」との声が根強くある。保育環境の整備は重要であると考え、本市の現状及び今後の取り組みについて、以下伺う。

- (1) 今年度当初からの待機児童の推移及び直近の待機児童数かどうか。
- (2) 幼保無償化法案が閣議決定されて日が浅いが対応で問題は生じていないか。
- (3) 平成31年4月における園ごとの定員数、入園希望者数及び受け入れの状況かどうか。
- (4) 保育士の確保については重要課題と考えるかどうか。
- (5) 国の無償化の対象から外れるゼロ歳児から2歳児に対する、国を上回る市単独事業としての子育て世帯への負担軽減の具体的な内容は何か。

2. 第2次島田市環境基本計画における環境問題への取り組みについて

環境問題においてさまざまな取り組みがある中、自然環境、生活環境及び地球環境の保全や、資源循環、環境教育・環境保全活動の推進に取り組むことは大変重要であると考え、以下伺う。

- (1) 先般実施したパブリックコメントの結果かどうか。
- (2) ごみの減量対策と資源化の現状かどうか。
- (3) 環境教育・環境保全活動の具体的な取り組み状況はどのようなものか。
- (4) 使用済み紙おむつのリサイクル化について
 - ① 本市では、使用済み紙おむつは燃せるごみとして扱われていると思うが、どの程度廃棄されているか。
 - ② 他の自治体でのリサイクルの状況について把握しているか。

11. 11番 桜井洋子議員 (一問一答)

1. 国民健康保険について

国民健康保険（国保）が都道府県化に移行して2年目を迎える。平成31年度の県に納める事業費納付金は現行税率では充足しないとの推計である。そこで、市は県の統一保険料を見越して、4月から基礎課税額分の資産割を廃止し、3方式（所得割、均等割、世帯割）とし、あわせて所得割の引き上げを計画している。協会けんぽと比べても2倍近く高い国保税に悲鳴が上がり、これ以上の負担増は限界である。引き下げを求め、以下質問する。

(1) 市の国保の現状について

- ① 平成30年度の加入世帯数と所得段階別の構成比率はどうか。
 - ② 1人当たりの医療費の伸びはどうか。
 - ③ 国保税の1世帯当たり、1人当たりの平均調定額はどうか。
 - ④ 国保税の収納率はどうか。
 - ⑤ 国保税の滞納状況はどうか。
 - ⑥ 滞納者に対する短期被保険者証や、医療費全額負担の資格証明書の発行状況はどうか。
 - ⑦ 滞納者に対する差し押さえの件数はどうか。
- (2) 所得割の5.1%から6.6%の引き上げは、1世帯当たりどのくらいの負担増か。また、激変緩和策はあるか。
- (3) 均等割は子どもが多いほど国保税が高くなる。均等割の軽減策を求めるがどうか。

2. 非正規職員の包括業務委託について

2020年4月からの会計年度任用職員制度の移行を前に、市はコスト削減と称して、非正規職員500人余の業務の精査に取り組み、2019年10月から前倒しで一部の業務について民間事業者へ包括業務委託する準備を進めている。包括業務委託は、公務労働の指揮命令系統の二分化や職員のさらなる待遇改悪につながる懸念があり、ひいては、市民サービスへの影響も懸念される。包括業務委託の進め方について、以下質問する。

- (1) 現在、市が任用する臨時職員、嘱託員が担う業務はどのようなものがあるか。
- (2) 包括業務委託の方針に「公権力の行使に該当するもの、偽装請負にあたるものの他、政策的に直営で行うべきと判断される業務があることに留意する」とあるが、その業務とは何か。
- (3) 非正規職員をそのまま会計年度任用職員として移行すると、人件費が1.3倍から1.6倍に増加するとしている。包括業務委託にした場合の委託料はどの程度と見込まれるか。また、職員の平均賃金はどのように変わるか。
- (4) 10月からの前倒しで進める委託業務の中に、学校現場への導入が計画されている。学校教育支援員、図書館支援員、教育指導員及び教育センター員などである。委託業務は直接子どもたちとかかわり、その成長と発達に責任を持つ教育現場にはなじまない。見直すべきと考え、以下伺う。
 - ① 業務内容と配置、人数はどうか。

- ② 子どもたちにかかわる守秘義務や業務の継続性は守られるか。
- ③ 偽装請負になる可能性があるので、担任等は直接的な指導はできず、逆に指示を仰ぐこともできないと考える。子どもを真ん中にした教育活動への弊害をどのように考えるか。

12. 17番 山本孝夫議員 (一問一答)

1. 設置予定の観光案内所とこれからの観光施策について

「観光で稼ぐ」という文言を使って、当市はこれからの観光施策を進めていくと聞いている。とりわけ新東名島田金谷IC周辺の賑わい交流拠点整備では、市が観光案内所を設置することになっている。そこで、この観光案内所を活用してどのような観光施策を計画していくのか、以下質問する。

- (1) 観光案内所の運営はどのように行うか。
- (2) 観光案内所の特徴は何か。
- (3) 隣接自治体の観光案内所、観光協会及び大井川鐵道株式会社等との連携はどのようにになっているか。
- (4) 当市、またはこの地域全体で企画しているものはあるか。
- (5) 観光施策に外部の人材登用は考えているか。
- (6) 住んで良し訪れて良しという地域にするため、定住促進につなげる観光案内所の役割をどのように考えるか。

2. 第3日曜日の家庭の日の施設利用について

市内の少年少女のスポーツ活動において、これまで毎月第3日曜日は家庭の日と称して、学校施設の使用を禁じてきた。しかしながら、家庭の日設定の趣旨が理解されておらず、学校施設以外の場所で活動を行い、子供や保護者への負担が大きくなっているとも聞いている。一方で家庭の日設定の趣旨を理解し活動しているが、活動場所が学校施設で日曜日が活動主体の団体においては、第3日曜日に活動ができず、活動場所に窮しているとも聞いている。多くの団体は趣旨を理解し活動していると思うが、一部が困難を強いられるとすれば改善策はないかと考え、以下質問する。

- (1) 家庭の日を設定した目的は何か。
- (2) 現状の活動実態をどのように把握しているか。
- (3) 第3日曜日は使用禁止としていくのか。状況に応じ柔軟に対応する選択肢はないか。
- (4) 健全な育成を考えたとき、実態調査のアンケートを学校を通じて行う考えはないか。
- (5) 子供たちの健全育成のためには、まず指導者の健全育成が必要と考える。このことについての見解はどうか。

13. 19番 清水唯史 議員 (一問一答)

1. 各種スポーツとまちづくりの取り組みについて

(1) 第10回しまだ大井川マラソン in リバティの事後検証と今後について

人を当市に呼び込む一つの取り組みとして毎年マラソン大会が開催されている。平成30年は10月28日に10回目の記念大会として、全国各地から選手が参加し開催された。記念大会であることで、10回連続エントリーの選手やこれまで大会を支援してくれたスポンサーなどが招待され、前夜祭も盛大に開かれた。10回目を一つの節目として、大会を振り返り、その成果と今後の取り組みについて、以下質問する。

① 大会の開催状況について

- ア 種目別の参加者の状況と出走者の状況を伺う。
- イ 参加者の市内と市外の割合を伺う。
- ウ 天候による選手の救護状況を伺う。
- エ 参加ボランティアの人数とそのボランティアの内容を伺う。

② 大会による成果検証について

- ア 記念大会として新しい取り組みはあったか伺う。
- イ 経済効果をどのように検証しているか伺う。
- ウ スポーツの大会としての成果をどのように認識しているか伺う。

③ 今後の大会の開催について、過去10回の大会を振り返り、本年10月27日に開催が決定された第11回大会以降はどのように開催するか、その方向性を伺う。

(2) 平成31年度施政方針に掲げる健康による幸せづくりとスポーツについて

しまだ大井川マラソン in リバティの開催により、市内のランニングに取り組むスポーツ人口が増加していることは明らかである。市長は就任以来、市民一人1スポーツによる健康づくり、または健康維持の方向性を述べている。そこで、今までの取り組みと今後の取り組みについて、以下質問する。

- ① 市民一人1スポーツの現状をどのように捉えているか伺う。
- ② 体育協会加盟団体等の競技団体と市民健康づくりのかかわりをどのように取り組んでいるか伺う。
- ③ 各種スポーツ競技の普及に対する方向性を伺う。

2. 観光で稼ぐまちづくりの取り組みについて

施政方針に掲げる観光によるにぎわいづくりにおいて、市内には多くの歴史的な観光文化資源や自然を生かした地域資源が存在し、それらを総合的に活用し観光によるまちづくりで稼ぐことが述べられている。観光で稼ぐまちを視野に入れた観光総合戦略を策定することであるが、このことについて、以下質問する。

(1) 観光総合戦略策定の方向性について

- ① 観光総合戦略策定の方法を伺う。
- ② 文化芸術推進計画と観光総合戦略の関係性を伺う。
- ③ 観光資源となり得る文化資源の取り扱いについて伺う。

14. 4番 河村晴夫議員 (一問一答)

1. 平成31年度(2019年度)から平成33年度(2021年度)の実施計画について

昨年の9月に、第2次島田市総合計画基本構想に基づき今後3年間に実施する主要な145事業が発表され、全体では322事業、総額で約943億円となると、平成30年市議会11月定例会の一般質問で答弁を受けた。基本的には、効果的、効率的な事業実施を目的として策定されていると理解するが、事業の実施に向けて多額な費用を投資することに対して、以下質問する。

(1) 実施計画期間を踏まえた財源の見込みについて

- ① 人口推移をどのように予測しているか。
- ② 出生率アップ対策、転入者増対策、転出者減対策及び健康寿命の推進対策をどのように考えているか。
- ③ 企業誘致の計画はあるか。
- ④ 事業費約943億円の中で、市内業者に還元できる金額はどれくらいか。
- ⑤ 観光客が市内で消費することも地域経済に大きな役割があると考えますが、実績を踏まえてどのように考えているか。

(2) 事業費の削減について

- ① 計画を実施することで相乗的に費用の減額や事務の効率化を図ることができる事業はあるか。
- ② 得られる結果は同様だが費用が増加している事業はどのように精査し、今後どのようにしていくか。

(3) 市役所新庁舎の建設計画について、市民が使いやすく、職員が働きやすい職場をつくるためにどのような工夫をする予定か。

2. 他市で発生した事件等への対応について

千葉県での我が子への虐待による死亡事件に対する教育委員会、児童相談所の対応、磐田市の図書館設備改修工事の入札価格漏えい事件、レオパレスの建築基準法違反など、当市としても教訓としなければならない事例が発生している。職員への情報提供や対策検討など、他市で発生した事件について、市としてどのような対応をしているか伺う。